３級の技能検定の受検資格付与に係る確認書

日付：令和○年○月○日

所属：　○○○○○○○○

実施責任者：　○○　△△

下記講習により、次の者が受検資格を付与できる者であるか否かを確認したことを証します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属** | **生年月日** |  **判定結果** ※1 |
|  |  |  | 可 ・ 否 |

※1　講習内容に示した科目の細目を受講した結果、安全に作業ができるか否かの観点から、判定者が総合的に判定。

記

（職種・作業名）

|  |  |
| --- | --- |
| 職種名 | 作業名 |
| 機械加工 | 数値制御旋盤 |

（講習担当者）※2

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 資格 |
|  |  |
|  |  |

※2　判定者と同一の者の場合、資格欄のみ省略可

（日時・場所）

|  |  |
| --- | --- |
| 日時 | 場所 |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |

裏面に続く

（講習内容）

当該職種（作業）において安全作業をする上で必要となる次項の科目の細目について、必要なレベル ※3 の最低６時間の講習を行う。

（細目及び確認項目）

「試験科目及びその範囲の細目」の安全衛生及び労働安全衛生法関係法令等

|  |  |
| --- | --- |
|  | **チェック欄** |
| 1 | 機械加工作業に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。 |  |
| (1) | 機械、器工具、原材料等の危険性又は有害性及びこれらの取扱方法 |  |
| (2) | 安全装置、有害物抑制装置又は保護具の性能及び取扱方法 |  |
| (3) | 作業手順 |  |
| (4) | 作業開始時の点検 |  |
| (5) | 機械加工作業に関して発生するおそれのある疾病の原因及び予防 |  |
| (6) | 整理、整頓及び清潔の保持 |  |
| (7) | 事故時等における応急措置及び退避 |  |
| (8) | その他、機械加工作業に関する安全又は衛生のために必要な事項 |  |
| 2 | 労働安全衛生法関係法令（機械加工作業に関する部分に限る。）について詳細な知識を有すること。 |  |

※3　必要なレベル（「詳細な」「一般的な」「概略の」）の定義について

　　詳　細：確実に、かつ、深く知っていなければならない知識の程度

　　一般的：知っていないと作業に支障が生じる知識の程度

　　概　略：浅く広く常識として知っておかなければならない知識の程度

「試験科目及びその範囲の細目」の実技作業

|  |  |
| --- | --- |
|  | **チェック欄** |
| 1 | 通常の部品のプログラミングに関し、次に掲げる作業ができること。 |  |
| (1) | 工作物の取付方法の決定 |  |
| (2) | 加工順序の決定 |  |
| (3) | 工具経路図の作成 |  |
| (4) | 切削条件の決定 |  |
| (5) | ツールリストの作成 |  |
| (6) | プロセスシートの作成 |  |
| (7) | 数値制御装置へのプログラムの入力 |  |
| (8) | プログラムの編集 |  |
| 2 | 各種の切削工具の取付け及び加工段取りができること。 |  |
| 3 | 直線切削、円弧切削、ねじ切りができること。 |  |
| 4 | 通常の精度の穴あけ及び穴ぐりができること。 |  |
| 5 | 切削作業の種類、工作物の材質及び切削工具の材質に応じた送り、切込み及び切削速度の決定ができること。 |  |
| 6 | 切削工具の寿命の判定ができること。 |  |

上記のとおり確認した。

（判定者）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 資格 |
|  |  |